

佳作

私の事故防止対策

(神奈川県) 川崎運送(株) 畑 中 真 洋

ここ数年間で、我々トラック運輸業界の重大事故のニュースが絶えなくなって来ている。ほぼ毎日と言ってもいいくらい日本のどこかで死亡事故や、車両転覆事故、車両火災等、またトラックが！と報道され、ニュースを見る度に嫌な思いをされている方は多いのではないのでしょうか？

私も大型車を毎日運転している一人として、日々ハンドルを握りながら今日も一日無事に過ごせますように！と心して運転しております。

対策としてですが、弊社ではヒヤリ・ハット報告の義務付けや、月に一度の各拠点において安全会議を行い、その中でヒヤリ・ハット体験の発表をして特に重大と思われるヒヤリ・ハット事例を題材にしてのKYT活動を行い、以後一ヶ月間のチーム行動目標と、指差し呼称項目を決めて、各自必ず実施するようにしています。

あと、個人的に行っている事故防止対策は職業ドライバー故当たり前ではありますが、酒の飲み過ぎ（二日酔いになるような飲み方はしない）、これについては弊社のアルコールチェッカーの場合、パソコン連動型でもし飲酒を検知した時には即拠点長の携帯電話に自動で報告メールがされるシステムになっているので、当然検知された事はありません。

車両の日常点検も大事で、前日の帰りには何も無くても、オイル漏れやエアータンクのエア漏れなど、特にパワステオイルの漏れは気づきづらいのでしっかりと確認指差呼称を行うようにしています。車両乗車前の一回りも事故防止には効果的だと思います。ウイングやアオリ止めをするのを忘れていたり、観音扉から荷台に入り、ラッシング等で荷物の固縛を行った後に観音扉を閉め忘れる事も、全く無いとはいえません。

普段一番気を付けている事ですが、やはり走行中の事故防止です。

まずは眠気対策、私は弊社に入社してもうすぐ二十年になります。それなりに歳をとり、疲れも抜けづらくなってきていると思います。必ず連続五時間の睡眠時間はとるように心がけて、いつもより一時

間早く起きる時には一時間早く寝るようにしています。それでも眠くなりそうだな～！と思う時には、いつもはあまり飲まない炭酸きつめのジュースを運転中に眠くなったら飲んだり、好きな音楽をかけて歌いながら運転して眠気を感じさせないようにしています。どうしても眠く、このままだと意識を失うかもしれない！と思ったら、SAや、PAで止まってトイレ休憩がてら、背伸びや軽くストレッチしながらトイレに歩いて行きます。一番怖いのは、自分一人じゃないって事で、自分がいくら気を付けて運転していても他のドライバーが危険運転や居眠り運転をしていたら高速道路のトンネル内などでは逃げ場がないので、常に一歩引いて車間距離を多少いつもより多めにとるようにしています。

弊社では高速道路八十キロ、一般道法定速度厳守で徹底しておりますが、まだまだアクセル全開で走行したり、速度を守って走る車を凄い勢いであおるトラックも少なくはありません。自分達の生活の為にこのトラック運輸業界を選んで自分の職にしたのであれば、その職に誇りを持ち、人として恥じない行動をとらなくてはなりません。

私たちが運転している大型トラックや、トレーラーは運転者の気持ちや行動一つで荷物を運ぶ為の道具では無く、殺人マシン！になるという事だけは忘れずに日々事故を起こさない為に考えながら運転する必要があると思います。

とりあえず、毎日乗車前に今日はどこどこに行くからこれに気を付けよう！とか、その日その日の注意事項を自分に言い聞かせ今日も無事故で頑張ります！